

日本学術会議(第26期)第3回物理学委員会物性物理学・一般物理学分科会議事要旨

日時: 令和7年3月24日(月)10:30~12:30

会場: オンライン会議(ZOOM)

出席者: 腰原伸也、常行真司、森 初果、網塚 浩、家 泰弘、石坂香子、板倉明子、伊藤公孝、大友季哉、陰山 聡、香取浩子、兒玉了祐、清水祐公子、白濱圭也、高須昌子、寺崎一郎、中村浩章、西野吉則、野尻浩之、林久美子、藤澤彰英、松田 巖、南谷英美、美濃島 薫、村尾美緒、柳瀬陽一、山口浩司、笠 潤平 (28名)
欠席者: 伊藤公平、木村芳文、五神 真、新永浩子、高安美佐子、瀧川 仁、所 裕子、根本香絵、早瀬潤子、細越裕子、松尾由賀利、森吉千佳子、吉田善章 (13名)

議題に先立ち、議事要旨作成のため会議を録画することが承認された。

議題

1. 日本学術会議のあり方に関する検討状況についての報告(資料1)
 - ・腰原委員より資料1に基づき状況報告と今後の予定の説明があった。
2. 「未来の学術振興構想(2023 年版)」の改訂方針と今後の予定についての報告(資料2)
 - ・腰原委員から資料2に基づき報告があった。学術フォーラムの開催などを経て集まった様々な意見を受け、今後追加公募により新しい提案を募集し、改訂版として掲載してゆく方針である。
3. 我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会についての報告(資料3)
 - ・腰原委員より資料3に基づき報告があった。
4. 第三部博士人材育成 WG についての報告(資料4)
 - ・常行委員長より資料4に基づきWGの活動状況について説明があった。
5. 水素連携シンポジウムについての準備状況報告と意見交換(資料5)
 - ・板倉委員より資料5に基づき2025年8月1日開催予定の公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用～第1回 水素を作る～(仮)」の準備状況について説明があった。
 - ・登壇者のダイバーシティについて質問があり、できるだけ配慮したという旨の回答があった。
6. 物理学委員会の分野俯瞰・学術横断的シンポジウムについての準備状況報告と意見交換(資料6)
 - ・網塚委員より資料6に基づき当該シンポジウム「量子が世界を変える:科学の100年と未来への挑戦(仮)」の企画委員会の開催状況報告について説明があった。
 - ・量子生命科学という分野が重要になってきていることを踏まえ、このようなシンポジウムに生命系のトピックが含まれていると一般の人にも量子の広がり分かりやすく伝わってよいのではな

いか、との提案があり、企画委員会で検討する旨の回答があった。

7. その他

分科会資料

資料1:学術会議全般状況

資料2:未来の学術振興構想

資料3:我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会

資料4:第三部博士人材育成WG

資料5:公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用」

資料6:物理学委員会シンポジウム「量子が世界を変える:科学の100年と未来への挑戦」